

17地区での自由枠交付金の使い方などを紹介!!



地域で生きる自由枠交付金

Part 14 久代地区地域づくり協議会

●自由枠交付金制度の活用について

自由枠交付金制度がスタートして、地域の自主性が担保され、特色が出せるようになりました。子どもから高齢者まで安心して暮らせるまちづくりをテーマに、①防犯灯の整備(LED化) ②環境美化 ③健康増進 ④正木山整備など、地域活性化に取り組んでいます。

●今後の課題

歴史的価値のある正木山の整備を進めるとともに、地域全体の発展に努めていきたいと思います。また、地区民合同運動会など各種事業への積極的な参加を促し、諸活動に対して自主的に参加できるような人材を育成していく必要があります。

久代地区地域づくり協議会会長
三上 雅資さん

地区の皆さんはもとより、次世代を担う子どもが積極的に活動に参加できるような工夫が望まれます。そして、持続可能な活動となることを望んでいます。



正木山山頂からの景色を眺める総社西小学校の児童。正木山に登り、地域の宝物を大切にすることを養う

主な活動内容

部会名	活動内容
福祉部会	敬老会、健康福祉まつりの開催
環境部会	道路・水路などの維持管理・草刈り、クリーン作戦、ごみ減量化作戦
交通・防犯部会	交通、安全安心の地域づくり啓発看板の設置、防犯灯のLED化、青パトでの防犯巡視活動
防災部会	防災備品、非常食の備蓄、防災訓練
地域活性部会	正木山整備事業、合同運動会、高齢者のための生活講習など



①心肺蘇生訓練。外国人防災リーダーもAEDの使用法を学ぶ【11/20】②防災士からアドバイスを受け手作りの防災マップを作る【11/26】③危険箇所を確認して回る水内地区住民【11/26】④子どもも参加して土のう作りを体験【11/20】⑤避難所開設訓練で作製した段ボールベッド【11/20】



「こわいのは災害来ないその油断」

総社市防災週間 11月20日～26日

平成28年度総社市防災標語最優秀賞 平松晃一さん

20日には、総社北小学校で防災訓練を実施。地域住民や自主防災組織、消防、警察、自衛隊など約400人が訓練に参加しました。想定は震度6弱の地震。今年からは、初めて避難所開設訓練(避難者の受け入れ手順の確認や段ボールベッドの組み立て)が行われたほか、

市では、11月20日から26日までを総社市防災週間と定め、防災訓練をはじめ、防災に関するさまざまな取り組みを実施しました。



③

市ではこれからも、さらなる市民の防災意識向上に取り組んでいきます。
問い合わせ 危機管理室 (☎08599)

また、幼稚園での防災かるた・地震体験、地区住民による危険箇所を見回っての防災マップ作り、出前講座なども行われ、参加者らは災害に備える気持ちを新たにしていました。



④

きれいな総社市を目指す!

ごみ減量化コーナー

その10 ペットボトルのリサイクル

ごみについて学ぼう!



ペットボトルは月に一度、資源としてごみ集積所に outputs. 水洗いをした後、キャップとラベルを取って、45ℓ以下の透明か半透明の袋に入れてください。集められたペットボトルは、最終的にリサイクル工場へ引き取られ、細かく砕かれプラスチック製品や服、バッグなどの製品へと生まれ変わっています。

チュッピーからの豆知識!

ペットボトル飲料を買わずに水筒を持ち歩くと、9月号で紹介した「Reduce」活動になるよ。



問い合わせ 環境課美化推進係 (☎08599)

総社市防災標語

応募があった297点のうち6点が優秀賞に選ばれ、11月25日に市役所で表彰式が行われました。最優秀賞は、平松晃一さん(総社南高勤務)の「こわいのは災害来ないその油断」です。写真は受賞者の皆さん。左から高杉浪子さん(三須)、平松晃一さん、平井啓太さん(総社中2年)、中島美優さん(同中2年)、難波永充さん(神在小6年)、吉富聖真さん(総社小6年)



⑤